

森林認証制度

森林認証制度とは、独立した第三者機関が環境・経済・社会の3つの側面から一定の基準をもとに適切な森林経営が行われている森林または経営組織などを認証し、その森林から生産された木材・木材製品にラベルを付けて流通させることで、持続可能性に配慮した木材についての消費者の選択的な購買を通じて、持続可能な森林経営を支援する民間主体の国際的な取り組みです。



2017年9月時点のイメージ図／@Tokyo 2020

- ・ 岡山県では、森林認証制度の普及や認証取得への支援のほか、認証材の販路拡大に取り組んでいます。
- ・ 東京2020オリンピック・パラリンピック関連施設では、認証材をはじめとする持続可能性に配慮した木材のみが使用されており、選手村ビレッジプラザには岡山県内で生産された認証材が使用される予定です。